

西金砂スダジイ希少個体群保護林

希少-18

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 茨城森林管理署
所在地	茨城県 常陸太田市
面積	14.39ha
設定年	1994(H6)年
保護林の概要 (設定目的)	蜂巢国有林の山腹中央～下部に分布する天然生林である。南斜面にはシラカシ、スダジイ、カゴノキなどの常緑広葉樹、北斜面にはブナ、イヌブナ、アカシデ、クリ、オノオレカンバなどの落葉広葉樹が多い天然生林が広がり、照葉樹林帯と落葉樹林帯との中間的な要素を持った学術上貴重な林分が形成されている。このため、分布の北限に近いスダジイやカゴノキ等が生育する群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2017年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、シラカシ及びケヤキ・スダジイ・イヌブナが混生して優先し生育する林分計2か所の調査プロットを設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測および植生の種組成の概要を把握。(旧猿ヶ城シャクナゲ植物群落保護林)
結果概要	保護対象であるスダジイは、シラカシ群落内に散生しており、シラカシ群落については、前回調査と比較して大きな変化はなく、照葉樹林帯と落葉広葉樹林帯との中間的な要素を持った林分が良好な状態で維持されていると評価される。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。